



地道に、誠実に

校長 垣崎 晃

今年度の新入生、129名を迎え、全校児童740名、教職員75名の新しい組織で大泉東小学校の令和4年度がスタートしました。

子供たちにとって実質的に意義のある1年間にするため教職員が協働して地道に、誠実に子供の教育にあたります。ご家庭や地域でも子供たちに声をかけていただき、共に育てていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

★ 学校の教育目標の達成を目指します。

1. まなびつつける子

新学習指導要領では育成を目指す資質・能力を三つの柱で整理されています。「実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能」「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力」「学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など」です。各教科の授業の計画を十分にした上で、授業を行い、子供たちが考え、判断し、表現できるようになるところまで学力の質を高めていきます。覚える、できるからさらに学習したことを活用できる児童を育てていきます。また、学習意欲や粘り強く最後まで取り組むなど頑張る意思を育てることに力を入れます。

2. おもいやりのある子

特別の教科道徳を要として、教育活動全体を通して他人を思いやる心、生命や人権を尊重する資質・能力など自己の生き方とともに考え、豊かな人間性を育ててまいります。特に「善悪の判断、自立、自由と責任」「個性の伸長」「親切、思いやり」「生命の尊さ」を尊重する心を育む指導、活動に重点を置いてまいります。

3. たくましい子

子供たちの健康の保持増進、生活習慣の向上を図るため、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力を育み、運動習慣の確立を目指していきます。具体的には、子供たちが運動好きになる、魅力的な体育の授業を展開していきます。また、外遊びを推奨し、元気に遊ぶ子を育てていきます。

また、健康教育を充実させ、食育を推進していきます。学級活動、保健の授業、養護教諭や栄養士の指導など、多くの場面を設定していきます。